

## 国立競技場建替えに関するよくあるお問合せ

Q：オリンピック招致に成功し、国立競技場の建替え計画に変更はあるのか？

A：現時点では、計画の変更はございません。

国立競技場の建替えについては、下記のことなどを総合的に勘案し「国立競技場将来構想有識者会議」において議論を進めております。

- ・現国立競技場の老朽化
- ・現国立競技場は各競技団体の国際基準に適合しなくなっているため、大規模国際競技大会を開催することが難しくなっていること
- ・スポーツ基本法に基づく、スポーツ基本計画において、日本スポーツ振興センターは大規模な国際競技大会を開催することができる施設を整備すること、と明記されている
- ・2019年のラグビーワールドカップのメインスタジアムとして計画されていること。
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとして計画されていること。

したがって、オリンピックの東京開催が決定したことが、国立競技場建替え計画の変更に影響することではございません。

Q：新国立競技場の概要は？

A：現在、基本設計の条件整理を進めている段階ですので、詳細な設備等はお答えできませんが、国際デザイン・コンクールでの特徴的な概要は下記のとおりです。

- ・収容人数は8万人
- ・全天候型のスタジアムを実現するための、開閉式の屋根
- ・臨場感あるスタジアムを実現するための、一部可動式の観客席

Q：どのような競技で使われるのか？

A：サッカー、ラグビー、陸上競技です。そのほかに文化的な活用方法として、コンサートなどにも使用していただく予定です。

Q：オリンピック・パラリンピックではどのような競技で使用されるのか？

A：東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会が作成した立候補ファイルではメインスタジアムとして位置づけられており、オリンピックでは開閉会式・サッカー・ラグビー・陸上競技、パラリンピックでは開閉会式・陸上競技が開催されることになっております。詳細については、招致委員会（組織委員会）にお問合せください。

Q：敷地面積、敷地範囲は？

A：敷地面積は、約113,000㎡です。

現国立競技場・都立明治公園（霞岳広場、四季の庭）・現日本青年館及びその間の道路（新宿区道）が新国立競技場の敷地範囲です。

## 国立競技場建替えに関するよくあるお問合せ

Q：工事スケジュールは？

A：2014年7月～2015年10月：現国立競技場の解体  
2015年10月～2019年3月：新国立競技場の建設

Q：設計スケジュールは？

A：～2013年9月：フレームワーク設計  
2013年10月～2014年3月：基本設計  
2014年4月～：実施設計（予定）

Q：現国立競技場の解体から新国立競技場の完成までの間、サッカー天皇杯などの既存の大会はどこで開催するのか？

A：各大会の主催者（各競技団体等）において、代替会場を検討していただくこととなりますので、詳細は大会主催者にお問合せください。

Q：建替えの事業費は？

A：昨年度に実施した国際デザイン・コンクールで選定したザハ・ハディド氏のデザインに基づいて、現在、コストの検討も含め条件整理を進めているところです。

Q：事業費はどのように確保するのか？

A：国費・スポーツ振興くじ toto の売上げの一部などを充てることを考えており、現在、文部科学省等と協議しています。

Q：聖火台、壁画、銅像などはどうなるのか？

A：記念品・芸術作品等の保存や新国立競技場への活用等については、外部有識者で構成された検討委員会において、保存方法・活用方法を含めて検討しております。

Q：開閉式の屋根が設置されると聞いたが、芝生の育成に影響はないのか？どういった芝生を使うのか？

A：芝生の育成等については、外部有識者による専門部会等において検討を進めておりますが、現時点では詳細をお答えできる段階ではございません。

Q：新国立競技場に設置される設備や諸室などの計画は？

新国立競技場に設置される店舗などの商業施設の計画は？

新国立競技場に博物館は設置されるのか？

A：今後、設計を進めていく中で決定していくこととなりますので現段階でお答えはできませんが、必要な設備やその面積・配置等の検討は進めており、設備・商業施設・博物館等の設置については、その中で検討しております。